以下のとおり研修内容を報告します。 行政視察を実施しました。

## 会について」 大分市議会議員政策研究1月4日大分県大分市

も条例の策定、災害対策に関す クコメントを行い、関係団体等 よる役員会議で決定します。更体会議で募集し、会派代表者に る提言などを行っていました。 これまで、議会基本条例や子ど の意見を参考に検討を行います。 に市民との意見交換やパブリッ 政策課題を議員全員による全

# 員の所見

提案による条例制定の重要性を ました。 から提案していく必要性を感じ 民サービスに繋がる条例を議員 の意見交換を行ったうえで、市 再認識し、市民や学識経験者と ることができました。また、議員 会の重要性、大切さを再度感じ 今回の研修を通して議会報告

#### ない公共施設経営について」 「将来世代に重荷を背負わせ 11 月 15 日 宮崎県宮崎市

総量の最適化」「質の向上」を経 公共施設基本方針に基づき、

> よる合意形成を実施し、「公共 理料の審査、市民アンケートに 営方針として、施設評価、指定管 整備していました。 策も踏まえた複合型防災施設を た。また、南海トラフ巨大地震対 施設経営」に取り組んでいまし

## 委員の所見

課題であると認識 となって取り組んでいく最重要 また、本市も公共施設経営にお 求められることを感じました。 自然災害対策への大きな役割が 今回の研修を通し、公共施設は いて、市議会、行政、市民が一体 なく、本市でも重要な問題です。 公共施設経営は他市の問題で しました。



#### 進していました。 委員の所見

ことが多くあり、佐野市での事 業への取り組みにとても参考 づくり」に重点を置く「木育事産み育てることができる環境 います。従って「楽しく子供をあることは佐野市と酷似して になりました。 業」については、強く共感する が森林であり、「木」が身近に 美濃市は里山に囲まれ、80

### **あかげバスデマンドについて」** 10 月 27 日 三重県伊勢市

ビスの地域格差の是正や交通平成19年から公共交通サー 弱者の利便性を図るために、コ

# 厚生常任委員会

総務常任委員会

月 14 日

(月)

չ 15

目

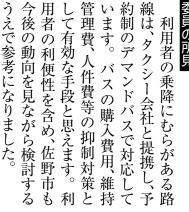
(火)

10 月26日 (水)~27 Ē

#### 木育事業について」 10 月 26 日 岐阜県美濃市

児に木製玩具を贈呈したり、保深めることを目的として、一歳 るとのことから、木育事業を推 れることにより、情操も培われ 生活や文化の中に木を取り入 育園舎を木造にするなど、日常 市民や子供に「木への や「木の文化への理解」 親 を

管理費、人件費等の抑制対策と 約制のデマンドバスで対応して 今後の動向を見ながら検討する 用者の利便性を含め、佐野市も して有効な手段と思えます。 います。バスの購入費用、維持 利



始

も乗っていない「空バス」状態

しました。しかし、一便に一人

ミュニティバスの

運

行 を 開

はタクシー車両による予約 もあることから、路線によって

制

の運行を併設していました。